

# 医療で使われる放射線とは？

放射線の性質を利用した検査や治療が行われています。

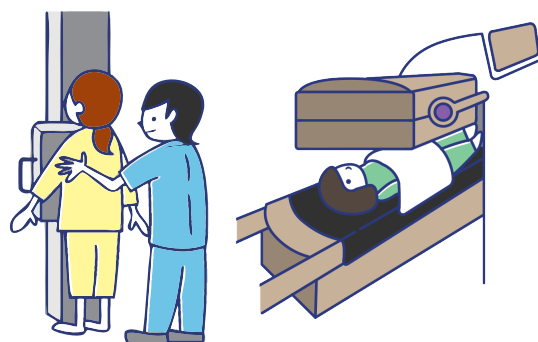


## 病院では何に放射線が使われているの？

### ● 病気の診断や治療に幅広く使われています。

X線検査やCT検査は放射線を利用したものです。ものを通り抜ける力からだの中の様子を調べ、けがや病気を見つけます。

がんの治療にも利用します。放射線は、手術、抗がん剤とならび「がんの三大治療」と呼ばれています。



## X線検査やCT検査は受けなきゃダメ？

### ● 病気の早期発見・治療のために必要です。

放射線は受ける量に応じて、健康に影響する可能性（デメリット）があります。一方、X線検査やCT検査は、外側から見えない病気を早く発見し、適切な治療につなげることがメリットです。

放射線の使用はその行為がもたらすメリットがデメリットを上回る場合に認められます。



## 放射線の検査を繰り返してもいいのだろうか…

### ● メリット・デメリットを考えた上で、必要な検査は受けましょう。

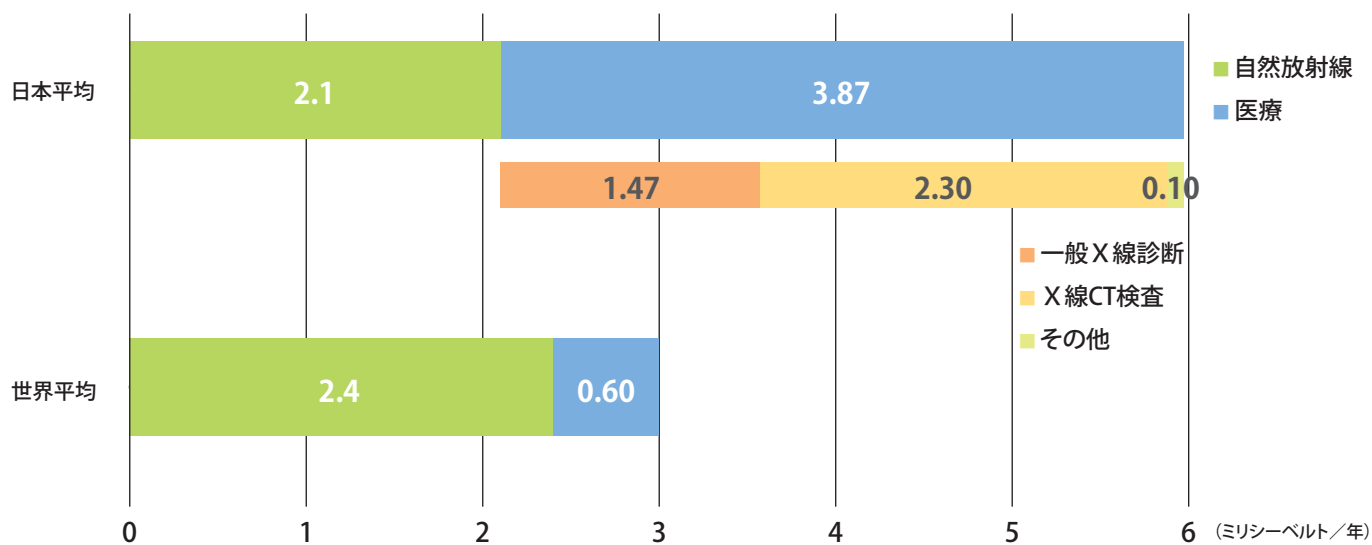
放射線を用いた検査は、回数よりも1回に受ける量と合計の量に気をつける必要があります。健康への影響が最小限になるよう放射線の量を調整して、検査が行われています。

放射線の検査で気になることや不安なことがあれば、医師にご相談ください。

# 医療から受ける放射線量（年間）

日本は世界的に見て、医療に放射線を用いることが多いことが知られています。

医療から受ける一人あたりの放射線量は、自然放射線から受ける量よりも多くなっています。



環境省 放射線による健康影響等に関する統一な基礎資料令和元年度版  
厚生労働省 第4回医療放射線の適正管理に関する検討会（2018.1.19）医療被ばくの適正管理のあり方についてより

# 放射線を用いた医療と1回あたりの線量

検査や治療の種類によって放射線の量は大きく異なります。

環境省 放射線による健康影響等に関する統一な基礎資料令和元年度版より（医療被ばくを抽出）

